

提案書評価基準

【評価方法】

- (1) 出席委員の評価点数の合計が最も高い提案を第一順位とする。
- (2) 出席委員の評価点数の合計が最も高い提案が複数あるときは、「提案書評価基準」の評価項目「4 電子書籍サービスの提供」、「7 電子書籍サービスから得られる読書データに関する提案」の合計得点が最も高い提案者を第一順位とする。
- (3) (1) 及び (2) の方法によりなお、第一順位が決定しない場合は出席委員の多数決により第一順位を決定する。それでもなお決定しない場合は委員長が第一順位を決定する。
- (4) 各評価委員の評価の合計点の平均が 234 点 (60%) に満たない場合は受託候補者として特定しない。

評価事項	評価	ポイント数					重要度	配点
1 全体を通した評価事項								
業務目的、業務内容を理解しているか。また、横浜市の学校図書館の現状・課題等を踏まえた提案内容となっているか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×2	10
提案内容の要旨を体系的に整理し、簡潔かつ明確に示されているか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×2	10
2 提案者について ※特定共同企業体の場合は、構成員全体で満たしているかを判断する。								
(1) ワークライフバランスに関する取組								
以下に示す認定等の取得状況に応じて評価。 ①次世代育成支援対策推進法に基づく認定（くるみんマーク、プラチナくるみんマーク）の取得 ②女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定（えるぼし）の取得 ③若者雇用促進法に基づく認定（ユースエール）の取得 ④よこはまグッドバランス賞	5:2つ以上有 3:1つ有 1:無	5	-	3	-	1	×1	5
(2) 障害者雇用に関する取組								
障害者雇用促進法に基づく法定雇用率 2.5%の達成状況に応じて評価。 ・達成している（従業員 45.5 人以上）、又は障害者を 1 人以上雇用している（従業員 45.5 人未満）	5:有 1:無	5	-	-	-	1	×1	5
(3) 健康経営に関する取組								
以下に示す認定等の取得状況に応じて評価。 ①健康経営銘柄、健康経営優良法人（大規模法人・中小規模法人）の取得 ②横浜健康経営認証の AAA クラス若しくは AA クラスの認証	5:2つ有 3:1つ有 1:無	5	-	3	-	1	×1	5

3 体制、実績、事業管理									
(1)業務実施体制									
業務の遂行に十分な従事者が割り当てられているか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×2	10	
(2)業務実績、経験									
過去、公立学校において児童生徒向けの電子書籍サービスを提供した実績があるか。ある場合、本業務に有益な結果、評価を得ているか。 (※実績あり→「1 or 3 or 5」、実績が無い場合「1」)	5:優れている 3:普通 1:劣っている (又は実績無し)	5	-	3	-	1	×3	15	
(3)事業管理									
進捗管理、リスク管理（個人情報漏えい等の対策やコンプライアンス対策）の計画・体制について、妥当性があるか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×4	20	
4 電子書籍サービスの提供									
十分なコンテンツ数があるか（参考：令和6年度に本市が試行導入した電子書籍サービスのコンテンツ数：約4,000冊）	5:特に優れている 4:優れている 3:普通 2:劣っている 1:特に劣っている	5	4	3	2	1	×6	30	
閲覧可能なコンテンツが継続的に更新・増加されることにより、児童生徒が飽きずに読書できる内容になっているか。（古いコンテンツばかりになっていないか。）	5:特に優れている 4:優れている 3:普通 2:劣っている 1:特に劣っている	5	4	3	2	1	×6	30	
全国学校図書館協議会図書選定基準を参考に、児童生徒が読書するのにふさわしいコンテンツのみ閲覧可能となっているか。（不適切なコンテンツは含まれていないか。）	5:特に優れている 4:優れている 3:普通 2:劣っている 1:特に劣っている	5	4	3	2	1	×6	30	
読書バリアフリーに配慮した機能が備わっているか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×4	20	
テーマに沿った選書のコーナーや、子どもの学年に合うコンテンツをランダムに紹介する機能など、子どもたちが自ら進んで読書したくなるような仕掛けがあるか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×3	15	
ユーザーインターフェースは、児童生徒と教職員にとって、直感的に操作でき、使いやすいものになっているか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×4	20	
教職員及び教育委員会が、児童生徒の利用状況等について把握しやすいシステムになっているか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×3	15	

アクセス集中時においても、システムの安定性は担保されているか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×4	20
情報セキュリティ対策は十分か。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×4	20
5 電子書籍サービスの運用サポートについて								
電子書籍サービスが学校現場で円滑に運用されるよう、教職員向けサポートデスク（問合せ窓口）が充実しているか。 ※オンライン窓口…メール、問合せフォームなど	5:電話及びオンライン窓口がある（又はチャットボット+問合せフォームなどオンライン相談窓口が優れている*） 3: 電話又はオンライン窓口（上記*を除く）がある 1:サポートデスクの充実が不十分	5	-	3	-	1	×3	15
運用開始前の導入準備について、教職員の負担にならないような方法を提案できるか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×4	20
年次更新に係る作業について、教職員の負担にならないような方法を提案できるか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×4	20
6 電子書籍サービスの機能改善について								
子ども及び教職員の満足度向上のため、ニーズを把握し、電子書籍サービスの改善・改良に向けた開発等を行う具体的な仕組みがあるか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×3	15
7 電子書籍サービスから得られる読書データに関する提案								
電子書籍サービスから得られる読書データの種類は豊富か。また、横浜市が読書データと学力等との関係の分析を行うにあたって、有益性はあるか。	5:特に優れている 4:優れている 3:普通 2:劣っている 1:特に劣っている	5	4	3	2	1	×8	40

満点 390